

学生担当者報 3

発行 / 天理教学生担当委員会 発行責任者 / 中山祥吉 編集責任者 / 東井申雄

TEL 直通: 0743-63-2489 FAX 0743-62-5780 E-mail tsa@tenrikyo.or.jp

TSA Website https://tsa.tenrikyo.or.jp Happist https://happist.net

Vol. 469
立教 189 年
2026 年
2 月 25 日発行

お知らせ

三月例会

期日: 立教 189 年 3 月 25 日
時間: 15 時 30 分受付 16 時開始
会場: 教庁 4 階講堂

学生層育成者講習会

日程・会場案内

直属

・笠岡 3 月 21 日 大教会

報告

一月例会

1 月の例会は、ありませんでした。

各地の動き

直属学生層育成者講習会

・城法 1 月 23 日 大教会

西川寿一委員出向

人事

《立教 188 年 12 月 25 日付》

【直属学生担当委員長辞令交付】

・古川久和(朝倉・菊浩)

業務記録

《立教 189 年 1 月 16 日～2 月 15 日》

1 月 19 日 学生連絡会

2 月 2 日 学生生徒修養会 大学の部

スタッフ事前研集会

(～4 日)

学生生徒修養会

高校卒業生コース

スタッフ事前研集会

(～3 日)

4 日 学修部部会

8 日 まなびばチーム会議

12 日 委員会

学修高校卒業生コース

進行表通し会議

教祖百四十年祭

学生おぢばがえり大会

プロジェクトチーム会議

13 日 学修大学の部

進行表通し会議

学修高校の部研究室

広報部部会

学修係員チーム会議

「教祖百四十年祭 学生おぢばがえり大会」



先日、小学二年生の娘が友達同士でシール交換を楽しんでいました。その中で決められているルールの一つが、「友達からもらったシールは、他の人と交換してはいけない」というものだったそうです。理由を聞くと、「もらった時の気持ちが大変だから」と、少し照れながら答えてくれました。幼いながらも、人とのご縁や思いを大切にしようとする姿に、はっとさせられる思いがしました。

私たちが日々向き合っている学生との出会いも、まさにこの「もらったシール」と同じではないでしょうか。誰かから紹介され、声をかけ、時間を重ねて関わってきた学生一人ひとりには、決して

て当たり前の存在ではなく、尊いご縁そのものです。そのご縁をどう育て、どこへ導いていくのかが、私たちに託されています。

この度の学生おぢばがえり大会は、教祖百四十年祭が勤められた年に開催される、特別な意味をもつ大会です。教祖のひながたを心に携え、学生が自らの足でおぢばに帰ることは、これからの信仰生活の大きな支えとなるはずですから。だからこそ、「きっと忙しいしれない」と決めつける前に、まずは一言、心を込めて声をかけていきたいと思えます。

少子化や宗教離れ、価値観の多様化が進む中、学生層育成は年々難しさを増しています。しかし同時に、一人ひとりを丁寧に育てる

学生部 委員

紺谷 清一郎

この大切さが、これまで以上に問われているとも言えます。学生おぢばがえり大会は、単なる行事参加ではなく、学生が「教えと出会い、人となりがり、自分の居場所を感じる」大切な機会です。その機会を用意し、背中を押す役割を担っているのが、私たちです。あの日、娘が大事そうにしまった一枚のシールのように、学生とご縁を大切に胸に抱きながら、「教祖百四十年祭 春の学生おぢばがえり大会」へ、一人でも多くの学生をおぢばへとお連れしたいものです。その誠の積み重ねが、次代を担う学生層育成へと確かにつながっていくことを願っています。

#328 みんなでおぢばへ 教祖140年祭 学生おぢばがえり大会 立教 189 年 3.28

学生生徒修養会 大学の部 事前研修会報告

2月2日～4日にかけて、本部第7・8・9母屋を会場に「スタッフ事前研修会」を行い、188名が参加した。今年も、よりきめ細やかな丹精を目指して、「みのり塾」「いさみ塾」「よふき塾」「まこと塾」「つなぎ塾」の5塾に分かれ、塾長・副塾長を中心に男女カウンセラーが世話取りにあたり、庶務係・進行係が塾運営を担う体制をとる。

研修会ではエクササイズ実習を始め、「受講生と接する際の心構え」についての講義や係ごとの打ち合わせを実施した。

今年のテーマは「ひのきしんく感謝を実践に」としている。2日目の中山委員長の話では、親神様は私たちが陽気ぐらしをする姿をみて共に楽しみたい

と思いの身体を貸してください。それを知っている者たちがどのように動くかを期待を込めてご覧になってくださっている。また、受講生に心の底からお道ついでいいな、お道を信仰している人ついでやっぱり違うなと思つていただけるとつとめてもらいたい。そして、育成する側はそれを口に出せるよう自分自身の信仰の喜びは何だろう、教祖のぬくもりついで何だろうと考えながら本番までの時間を過ごしてもらいたいと述べた。

スタッフ一同は研修会を通して学んだことを心に治め、本期間に向けて各自が理づくりに励むことを誓い合い、幕を閉じた。

学生担当者報

学生生徒修養会 高校卒業生コース 事前研修会報告

2月2日～3日にかけて、本部第12母屋を会場に「スタッフ事前研修会」を行い、108名が参加した。高校卒業という人生の大きなターニングポイントを迎える高校卒業生を対象にしており、卒業後どのような環境においても、おちば・教会に繋がり、教えを掘り所とした生活を送ることを目指して、親神様の御教えを学ぶと共に、同世代との繋がりを深めることを目的としたものである。

研修会では、エクササイズの実習を通して進め方や心の使い方を学び、2日目の中山委員長の講話では、スタッフ一人ひとり役割は違うが、それぞれ

が教祖ならどうなされるかをしっかりと考えて受講生に対して向き合い、このお道のありがたさ、おちばのあたたかさや伝えてもらいたいと述べた。また、2月2日には大学の部・高校卒業生コースのスタッフが一同に会い、表統領 中田善亮先生からご挨拶をいただき、一手一つに人材育成の「用をつとめる決意をした。

学生担当者報



QRコード読み取り

明日につながる 学生WEBSITE Happist

<https://happist.net>

- お道の教えや心にグッとくるお話をご紹介します
- おちばの行事情報や各地の学生会情報も充実
- 「Happistスマイル」では学生の笑顔をお届け

青空

「岡崎さんがしてくれるお化粧、私好きだよ。」
美容部員として働く私に、とあるお客様から言っていたいた大変嬉しかった一言でした。メイクにもこうしたらいいよというマニュアルのようなものがあるのですが、人の顔は人の数だけあるわけで、同じように施しても思うような仕上がりにならないかったり、自然にみせたいのに不自然になったりと、難しく感じていた中でのお客様からの言葉だったのでそれはそれは本当に嬉しかったのです。

「人のよいよう、喜ぶよう、たすかるよう」の「よいよう、喜ぶよう」がこの現場でも実践できたんだと感じました。なかなか「たすかるよう」までは程遠い私ですが、身近なところからお道の人としておたすけの実践ができるようにこれからも努めたいと思います。

間もなく学修大学の部が開催されます。今年はどうな学生さんに出会えるだろうと楽しみいっぱいです。本期間までにしっかりとお徳を積み、お道を通る喜びを一人でも多くの学生さんに伝えられるよう誠の心で尽くしていきたいと思えます。さらには、教祖百四十年祭学生おちばがえり大会に向けて、一人でも多くの学生さんをおちばに繋がられるよう最後まで尽くさせていただきます。

人材育成部本部員 岡崎 佐喜